

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス れいんぼ～			
○保護者評価実施期間	7年 2月 8日 ～ 7年 2月 22日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34名	(回答者数)	22名
○従業者評価実施期間	7年 2月 8日 ～ 7年 2月 22日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数)	4名
○事業者向け自己評価表作成日	7年 3月 5日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者に合わせプログラムやスケジュールを作成しています。利用者の生活に近い環境の中でSSTに取り組み、社会性や自立心を育てています。	公共交通機関や公共施設などを使い、適切な対応の仕方などが学べます。 買い物学習を体験し、購入したいものを「選択する力」を養い、わからないことは「聞く」「尋ねる」力を育てていきます。また、「収入・支出・貯金」など生活に密着した活動を取り入れ、お金に関心を持ち、大切さを学ぶことができます。	行動範囲を広げ、利用者たちの経験値を上げていける活動を提供できるように努めます。
2	法人内に各専門職のスタッフが配置されており、利用者の発達や支援について相談をしたり情報を共有することができます。	保護者向けの勉強会やペアレントトレーニングを専門職と協力しながら開催し、利用者の特性や具体的な対応など伝え、子育て支援のサポートに努めています。	職員研修を行い、ひとり一人が知識やスキルを習得し能力向上に努めていきたいと思っています。
3	定期的に嘱託医やソーシャルワーカー、保育所等訪問支援の担当者などとケース会議を行うなど、他機関との連携をしています。	担当者会議やモニタリング以外でも、意識的に相談事業所の担当者で連絡を取り、利用者の利用状況や学校での様子を伝え共通理解を深めています。	卒業後の生活基盤について関係機関と連携を取り合い、福祉サービスについて利用者や保護者に伝えていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	施設内の駐車場が狭く、保護者に協力を得て、迎え時は時間を設定し時間差で駐車場を利用していただいています。	送迎時に保護者との連絡事項や情報共有が難しく、職員の配置や対応の工夫が必要だと考えます。	実績や活動の様子など伝達事項は先に済ませて、利用者がスムーズに帰宅できるよう配慮していきたいと思っています。また、必要に応じて電話で必要なことを伝えていきます。
2	学童やほかの放課後等デイサービスとの交流の機会がない。	他の事業所を併用していたり、地域での習い事などを行っている方が多いため、交流の機会は作りませんでした。	現在、地域や高崎市のイベントに参加したり、ボランティア活動に参加させて頂いています。また、地域の児童とは公園で遊び交流を深めています。これからも交流の機会を増やし、いろいろな体験ができるよう図っていききたいと思います。